

<p>【技術の名称】 矢作・ヨーコン式杭頭半剛接工法 ー接合鋼管と接合鉄筋を用いた鉄筋コンクリート杭頭半剛接工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第06-05号 性能証明発効日：2006年7月4日</p> <p>【取得者】 矢作建設工業株式会社 ヨーコン株式会社</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造の場所打ち杭の杭頭部とパイルキャップ(基礎フーチング)底との間に断面減少部を設け、ここに接合鋼管を配置するとともに、杭頭部からパイルキャップの間に所定長さの接合鉄筋を埋め込んだ鉄筋コンクリート杭頭接合部を構築する工法である。断面減少部の断面積は杭体軸部の断面積の 1/2~2/3 程度とし、杭頭部には割裂防止のための横拘束筋を配置することとしている。本工法によると、地震時に発生する杭頭部の曲げモーメントを従来工法よりも減少させるとともに、設計で要求される杭頭接合部の終局耐力を確保でき、かつ、現場施工の合理化を図ることができる。

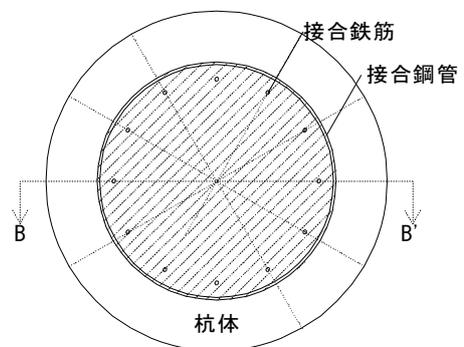
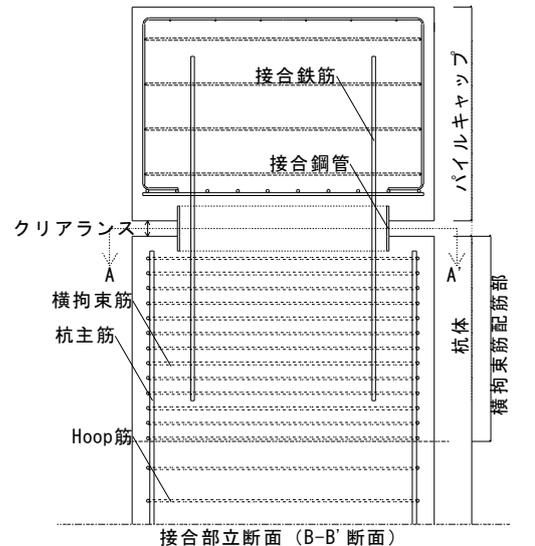
【技術開発の趣旨】

従来工法による鉄筋コンクリート場所打ち杭の杭体軸部を基礎部へ接合する場合の接合部については、地震時に発生する曲げモーメントに対処するため過密配筋となり、配筋施工が難しい。本工法は、これらの問題の解消を意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者提案の設計指針に従って設計した鉄筋コンクリート杭頭接合部は、設計で保証すべき長期荷重時および短期荷重時の構造性能を有し、設計指針で定める終局耐力を有すると判断される。また、同接合部の回転剛性は、設計指針で提示している方法によって適正に評価できると判断される。



接合部平断面 (A-A' 断面)
 〰〰〰は断面減少部を示す。

—— 接合部概要図 ——

【本技術の問合せ先】

矢作建設工業株式会社 担当者： 伴 幸雄 E-mail：y-ban@yahagi.co.jp
 〒 461-0004 名古屋市東区葵 3-19-7 TEL：052-935-2375 FAX：052-935-2215
 ヨーコン株式会社 担当者： 飯田 努 E-mail：tsutomu_iida@yocon.co.jp
 〒 461-0004 名古屋市東区葵 3-24-2 TEL：052-936-0232 FAX：052-935-3724